

おいしくなーれ、おいしくなーれ

新得保育所種まき交流会

新得保育所がある新生の2町内会と園児が交流を兼ねて行う種まき交流会が5月24日、保育所内の畑で行われ、園児62人がじゃがいも、人参、玉ねぎ、枝豆を植えました。町内会からは阿部靖博会長が参加し、園児に種まきの指導を行いました。

園児は、種まきを行った後に「おいしくなーれ、おいしくなーれ」と願いを込めていました。秋にはおいしい野菜が取れるといいですね。



緑いっぱいの未来へ

コープ未来（あした）の森づくり植樹祭

コープ未来（あした）の森づくり植樹祭（生活共同組合コープさっぽろ主催）が5月22日に開かれ、町民6人を含めた44人が参加しました。

この事業は道の「カーボンオフセット型森林づくり制度」を活用し、コープ札幌と新得町が森林整備協定を結んで森林づくりを進める一環として行われたもので、今回はカラマツの苗280本を記念植樹しました。

今後、2023年までの8年間で1300本のカラマツの植樹と下草刈りを予定しています。



花と緑がいっぱいの町へ

やさしい園芸講座

町花いっぱい運動推進委員会（熊切隆会長）が町を花と緑がいっぱいの美しく活気のある町にしようと「やさしい園芸講座」を5月22日、町公民館前で開催し、親子連れなど47人が参加しました。

講座では、同委員会のフラワーマスターから花を美しく咲かせるための丈夫な苗、良い土、肥料の選び方など、花の管理についてを基礎から学びました。

里山の春の訪れを楽しむ

新得おもしろ調査隊 神社山花々 & 野鳥観察会

新得神社山花々 & 野鳥観察会（新得おもしろ調査隊主催）が5月15日に行われ、10人が参加しました。

ポカポカとした気持ちのよい春の陽気の中、参加者らは山道沿いに咲く草花を見つけては、「これは何という花？」とガイド役の調査隊メンバーに確認するなど知識を深めながら、里山の春の訪れを楽しんでいました。



話題のアルバム



自然の中を駆け抜ける

2016 狩勝トレイルランニング

2016 狩勝トレイルランニング（実行委員会主催）が5月22日、狩勝高原で行われ、道内外から過去最多の304人が参加しました。旧狩勝線跡地と林道を走るコースで20km、12km、4kmの3コースに分かれています。

岩瀬国博大会委員長の号令でスタートし、それぞれのコースに分かれて雄大な自然の中、ランニングを楽しみました。

コースの中には100年以上前に作られた小笹川橋梁や新内隧道、狩勝隧道を通るものもあり、歴史に触れながらのランニングとなりました。

クイズを通して本の調べ方など学ぶ

図書館クイズ大会

こどもの読書週間（4月23日～5月12日）に合わせ、児童対象の「図書館クイズ大会」が4月23日～27日まで町図書館で開かれ、子ども達はクイズを通して本の調べ方や図書館の利用方法などを学びました。

この大会は毎年恒例となっており、今回は71人が参加。絵本「十二支のはじまり」の中で《十二支になれなかった動物は何でしょう》など10問に挑戦。

参加者は、館内の絵本や児童書を探して見つけ、全問正解者には賞状と景品が贈られました。



守り続けられる まちの歴史的文化

新得山新四国八十八ヶ所お山開き

新得山新四国八十八ヶ所・一畑薬師保存会（古川盛会長）が5月21日、新得山新四国八十八ヶ所で「お山開き」を開催しました。同所は昭和6年に脇タネ氏が四国八十八ヶ所の砂を持ち帰り、石仏一体一体の下に埋め、新得の地でも四国八十八ヶ所の巡礼ができるようにと創設されました。以来、有志の方の保存継続の努力で継承され、多くの方が来られる新得町の歴史的・文化・風土となっています。当日は、大師堂に多くの参拝客が訪れ、夏日となった天気の中、町民のほか帯広市などから参加した方々が参道を巡っていました。



おいしいお米になりますように

屈足保育園で田植え

屈足保育園の園児37人が6月3日、園内のミニ田んぼに田植えを行いました。同園では、米の生育過程や昭和50年代頃まで屈足地域でお米を作っていたことを園児に知ってもらおうと企画し、稲の苗は、毎年、日高町の下村農園から寄贈されています。稲穂が実る季節には園児らが収穫、もみ落とし、もみすりを行い、10月頃には穫れたお米で「おにぎりパーティ」を行う予定です。

園児らは、手を泥だらけにしながらい「おいしいお米になりますように」と一所懸命、苗を植えていました。